

1

工業簿記・原価計算の基礎

Section

2

製品原価計算の基礎

問題

1

理論問題～原価計算制度上の原価～

基本

日付	/	/	/
✓			

I		II	
---	--	----	--

3 勘定連絡と財務諸表

問題

2

勘定連絡

基本

日付	/	/	/
✓			

(単位：円)

(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
(6)			
(7)			
(8)			
(9)			
(10)			
(11)			

【注】()には勘定科目、()には金額(単位:円)を記入すること。

材 料	
前月繰越	諸 口
30,000	()
()	次月繰越
()	()
()	()

仕掛け品	
前月繰越	()
60,000	()
()	次月繰越
()	()
()	()
()	()

賃金・給料	
()	未 払 賃 金
()	70,000
未 払 賃 金	諸 口
()	()
()	()

製造間接費	
()	()
()	()
()	()
()	()
()	()

経 費	
前 払 経 費	諸 口
30,000	()
()	前 払 経 費
()	()
()	()

製 品	
前月繰越	()
130,000	()
()	次月繰越
()	()
()	()

販売費及び一般管理費	
()	()
()	()
()	()
()	()
()	()

売 上 原 價	
()	()
()	()

月 次 損 益	
()	()
()	()
()	()

売 上	
()	()
()	()

3 製造原価報告書の作成

基本

日付	/	/	/
✓			

製造原価報告書

(単位：円)

I 材 料 費

1. 期首材料棚卸高 ()

2. 当期材料仕入高 ()

合 計 ()

3. 期末材料棚卸高 ()

当 期 材 料 費 ()

II 勞 務 費

当 期 勞 務 費 ()

III 経 費

1. 電 力 料 ()

2. 運 費 ()

3. 保 険 料 ()

4. 減 価 償 却 費 ()

5. 棚 卸 減 耗 費 ()

当 期 経 費 ()

当期総製造費用 ()

() ()

合 計 () ()

() ()

() ()

当期売上原価は 円である。

2 費目別計算の基本

Section

2 材料の購入原価と材料副費

問題

1

材料副費

基本

日付	/	/	/
✓			

(単位：円)

(I) 材料購入の仕訳

材料副費実際発生額の仕訳

配賦差異計上の仕訳

普通預金

()

材料

()

材料副費

()	()
()	()

材料副費配賦差異

()

(2) 材料購入の仕訳

材料副費実際発生額の仕訳

--	--	--	--

配賦差異計上の仕訳

--	--	--	--

Section

3 労務費の基礎知識

問題

2

賃金の処理

基本

日付	/	/	/
✓			

1. 当月の要支払額 円

2. 各取引の仕訳 (単位:円)

(1)未払賃金勘定で繰り越す方法

ア.				
イ.				
ウ.				
エ.				

(2)賃金勘定で繰り越す方法

ア.				
イ.				
ウ.				
エ.				

4 経費の基礎知識

問題

3

理論問題～経費～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ	
---	--	---	--

3

製造間接費と部門別計算の基本

Section

2

製造間接費の予定配賦

問題

1

基準操業度の選択

基本

日付	/	/	/
✓			

製品Yへの配賦額

円

差異分析：

予算差異

円

() 差異

操業度差異

円

() 差異

【注】()には有利または不利と記入すること。

問題

2

公式法変動予算と固定予算

基本

日付	/	/	/
✓			

① 予算差異 () 円

操業度差異 () _____ 円

総差異 () _____ 円

② 予算差異 () 円

操業度差異 () _____ 円

総差異 () _____ 円

【注】有利差異の場合は+、不利差異の場合は-を()内に記入すること。

問題

3 製造間接費の予定配賦と配賦差異

基本

日付	/	/	/
✓			

【注】()には勘定科目、()には金額(単位:円)を記入すること。

製 造 間 接 費	
材 料 ()	仕 掛 品 ()
賃 金 ()	() ()
経 費 ()	() ()
() ()	
() ()	
()	()

予 算 差 異			
() ()			() ()
操 業 度 差 異			
() ()			() ()

問題

4 理論問題～製造間接費～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア イ ウ エ オ

3 部門別計算の基礎知識

問題

5

直接配賦法

基本

日付	/	/	/
✓			

補助部門費配賦表

(単位：円)

摘要	合計	製造部門		補助部門		
		切削部	組立部	動力部	修繕部	事務部
部門費	3,350,000	1,500,000	1,200,000	300,000	200,000	150,000
動力部費						
修繕部費						
事務部費						
製造部門費	3,350,000					

切削部

製造間接費	1,500,000	仕掛品()
動力部()		
修繕部()		
事務部()		
()		()

組 立 部

製 造 間 接 費	1,200,000	仕 掛 品 ()
動 力 部 ()		
修 繕 部 ()		
事 務 部 ()		
		()

動 力 部

製 造 間 接 費	300,000	切 削 部 ()
		組 立 部 ()
	300,000	()

修 繕 部

製 造 間 接 費	200,000	切 削 部 ()
		組 立 部 ()
	200,000	()

事 務 部

製 造 間 接 費	150,000	切 削 部 ()
		組 立 部 ()
	150,000	()

問題

6

相互配賦法(簡便法)

基本

日付	/	/	/
✓			

補助部門費配賦表

(単位：円)

摘要	合計	製造部門		補助部門		
		機械部	組立部	材料部	保全部	事務部
部門費						
第1次配賦						
材料部費						
保全部費						
事務部費						
第2次配賦						
材料部費						
保全部費						
製造部門費						

問題

7

階梯式配賦法～補助部門の順位付け～

基本

日付	/	/	/
✓			

問1. (1) 加工部門への補助部門費配賦額

万円

(2) 組立部門への補助部門費配賦額

万円

問2. (1) 加工部門への補助部門費配賦額

万円

(2) 組立部門への補助部門費配賦額

万円

問題



階梯式配賦法～勘定記入～

基本

日付	/	/	/
✓			

補助部門費配賦表

(単位：円)

摘要	合計	製造部門		補助部門		
		切削部	仕上部	()部	()部	()部
部門個別費						
部門共通費						
部門費合計						
製造部門費						

(単位：円)

切削部費

製造間接費()	仕掛け品()
事務部費()	
動力部費()	
修繕部費()	
()	()

仕上部費

製造間接費()	仕掛け品()
事務部費()	
動力部費()	
修繕部費()	
()	()

修繕部費

製造間接費()	切削部費()
事務部費()	仕上部費()
動力部費()	
()	()

動力部費

製造間接費()	切削部費()
事務部費()	仕上部費()
	修繕部費()
()	()

事務部費

製造間接費()	切削部費()
	仕上部費()
	修繕部費()
	動力部費()
()	()

問題

9 相互配賦法(連立方程式法)

基本

日付	/	/	/
✓			

補助部門費配賦表

(単位：円)

費目	製造部門		補助部門		
	機械部	切削部	材料倉庫部	動力部	工場事務部
部門費	5,200,000	7,050,000	252,900	352,200	210,000
補助部門費					
材料倉庫部費					
動力部費					
工場事務部費					
製造部門費合計					

問題

10 理論問題～原価の部門別計算～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

4 部門別配賦(予定配賦)

問題

11

製造部門別予定配賦
(補助部門費・直接配賦法)

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

予算部門費配賦表

(単位：円)

費目	製造部門		補助部門	
	切削部	仕上部	動力部	事務部
部門費	269,000	211,000	80,000	19,000
動力部費				
事務部費				
製造部門費				

予定配賦率

切削部	<input type="text"/>	円／時間
仕上部	<input type="text"/>	円／時間

問2.

実際部門費配賦表

(単位：円)

費目	製造部門		補助部門	
	切削部	仕上部	動力部	事務部
部門費	276,400	208,600	80,750	19,000
動力部費				
事務部費				
製造部門費				

問3.

(単位：円)

切削部費	
部門費	276,400
動力部費()	予定配賦額()
事務部費()	予算差異()
仕上部費	
部門費	208,600
動力部費()	予定配賦額()
事務部費()	
予算差異()	
操業度差異()	
動力部費	
部門費	80,750
	切削部費()
	仕上部費()
事務部費	
部門費	19,000
	切削部費()
	仕上部費()

問題
12
**製造部門別予定配賦
(補助部門費・階梯式配賦法)**

応用

日付	/	/	/
✓			

問1.

予算部門費配賦表

(単位：円)

費目	製造部門		補助部門	
	切削部	仕上部	動力部	事務部
部門費	84,000	117,000	79,000	20,000
事務部費				
動力部費				
製造部門費				

予定配賦率

切削部 円／時間仕上部 円／時間

問2.

実際部門費配賦表

(単位：円)

費目	製造部門		補助部門	
	切削部	仕上部	動力部	事務部
部門費	84,300	115,950	79,750	20,000
事務部費				
動力部費				
製造部門費				

問3.

(単位：円)

切削部費	
部門費	84,300
事務部費()	予定配賦額()
動力部費()	予算差異()
仕上部費	
部門費	115,950
事務部費()	予定配賦額()
動力部費()	
予算差異()	
操業度差異()	
動力部費	
部門費	79,750
事務部費()	切削部費()
	仕上部費()
事務部費	
部門費	20,000
	切削部費()
	仕上部費()
	動力部費()

4 個別原価計算

Section

1

個別原価計算の基礎知識

問題

1

完成品原価と仕掛品原価

基本

日付	/	/	/
✓			

(単位：円)

仕 備 品		
前月繰越	()	製 品 ()
直接材料費	()	次月繰越 ()
直接労務費	()	
製造間接費	()	
	()	()
	<hr/>	<hr/>

製 品		
前月繰越	()	売上原価 ()
仕掛品	()	次月繰越 ()
	()	()
	<hr/>	<hr/>

指図書別原価計算表

(単位：円)

摘要	No.100	No.102	No.103	合計
前月繰越				
直接材料費				
直接労務費				
製造間接費				
合計				
備考				

2

個別原価計算における仕損

問題

2

仕損費の直接経費処理

基本

日付	/	/	/
✓			

No.100に集計される製造原価

円

No.200に集計される製造原価

円

問題

3

仕損費の間接経費処理

応用

日付	/	/	/
✓			

(イ)

指図書別原価計算表

(単位：円)

	No.101	No.102	No.103	No.104	No.105	No.106
前月繰越	612,300	—	—	—	—	—
直接材料費						
直接労務費						
A 製造部門						
B 製造部門						
製造間接費						
A 製造部門						
B 製造部門						
小計						
仕損品評価額						
仕損費						
合計						
備考						

(口)

(単位：円)

製造間接費-A 製造部門

諸 口 ()	仕 掛 品 ()
	総 差 異 ()
()	()

製造間接費-B 製造部門

諸 口 ()	仕 掛 品 ()
() ()	
総 差 異 ()	
()	()

仕 掛 品	
前 月 繰 越 ()	製 品 ()
直 接 材 料 費 ()	仕 損 品 ()
直 接 労 務 費 ()	仕 損 費 ()
製 造 間 接 費 ()	次 月 繰 越 ()
仕 損 費 ()	
()	()

(ハ) 製造間接費-B 製造部門の差異分析

予算差異 () 円(借・貸)

【注】借・貸のどちらかを○で囲むこと。

操業度差異 () 円(借・貸)

総差異 () 円(借・貸)

問題

4 理論問題
～個別原価計算における仕損の処理～

基本

日付	/	/	/
✓			

1		2		3	
4		5			

5 総合原価計算の基本

Section

1**総合原価計算の基礎知識**

問題

1

月末仕掛品の評価(平均法・修正先入先出法)

基本

日付	/	/	/
✓			

完成品原価の差額

円

問題

2

追加材料の処理(平均的投入・終点投入)

応用

日付	/	/	/
✓			

当月の完成品原価

円

問題

3

追加材料の処理(途中点投入)

応用

日付	/	/	/
✓			

当月の完成品原価

円

当月完成品単位原価

円／個

問題

4

理論問題～単純総合原価計算～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

6

総合原価計算における仕損・減損

Section

1

仕損・減損の処理～度外視法～

問題

1

正常減損度外視法～減損が定点で発生～

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問2.

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問題

2

正常減損度外視法～減損が平均的に発生～

応用

日付	/	/	/
✓			

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問題

3 異常仕損費の計算

基本

日付	/	/	/
✓			

月末仕掛品原価

円

異常仕損費

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円／個

		仕掛け品	(単位：円)
前月繰越	229,950	製品()	
直接材料費	789,750	損益()	
加工費	1,053,000	次月繰越()	
	2,072,700		2,072,700

Section

2 仕損・減損の処理～非度外視法～

問題

4 正常減損非度外視法～減損が定点で発生～

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問2.

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問題

5 正常減損非度外視法～減損が平均的に発生～

応用

日付	/	/	/
✓			

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問題

6

理論問題

～総合原価計算における減損費の処理～

基本

日付	/	/	/
✓			

1

2

3

4

5

問題

7

減損の安定的発生

応用

日付	/	/	/
✓			

仕掛け品		(単位：円)
原 料 費	()	製 品 ()
加 工 費	()	次 月 繰 越 ()
	()	()

3

仕損品に評価額がある場合

問題



正常仕損度外視法(仕損品評価額あり)
～仕損が定点で発生～

応用

日付	/	/	/
✓			

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円 完成品単位原価 円／個

仕掛け品		(単位：円)
前月繰越	(<input type="text"/>)	製品 (<input type="text"/>)
直接材料費	(<input type="text"/>)	仕損品 (<input type="text"/>)
加工費	(<input type="text"/>)	次月繰越 (<input type="text"/>)
	<hr/>	<hr/>
	(<input type="text"/>)	(<input type="text"/>)
	<hr/>	<hr/>

問題



正常仕損非度外視法(仕損品評価額あり)
～仕損が定点で発生～

応用

日付	/	/	/
✓			

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円 完成品単位原価 円／個

仕掛け品		(単位：円)
前月繰越	(<input type="text"/>)	製品 (<input type="text"/>)
直接材料費	(<input type="text"/>)	仕損品 (<input type="text"/>)
加工費	(<input type="text"/>)	次月繰越 (<input type="text"/>)
	<hr/>	<hr/>
	(<input type="text"/>)	(<input type="text"/>)
	<hr/>	<hr/>

問題
10 異常仕損と正常仕損の同月内発生
(度外視法)

応用

日付	/	/	/
✓			

異常仕損費

円

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円／個

仕掛品

(単位：円)

前月繰越()	製品()
直接材料費()	仕損品()
加工費()	損益()
<hr/>	次月繰越()
()	()

問題
11 異常仕損と正常仕損の同月内発生
(非度外視法)

応用

日付	/	/	/
✓			

異常仕損費

円

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円／個

仕掛品

(単位：円)

前月繰越()	製品()
直接材料費()	仕損品()
加工費()	損益()
<hr/>	次月繰越()
()	()

7

工程別総合原価計算

Section

1

工程別総合原価計算～累加法～

問題

1

累加法

基本

日付	/	/	/
✓			

仕掛品(第1工程)		(単位:円)
前月繰越	()	第1工程完成品 ()
直接材料費	1,296,000	月末仕掛品 ()
加工費	1,677,600	
	()	()

仕掛品(第2工程)		(単位:円)
月初仕掛品	()	第2工程完成品 ()
前工程費	()	月末仕掛品 ()
加工費	4,113,000	
	()	()

完成品単位原価 円/kg月末仕掛品原価 円

問題

2

累加法～工程間振替での予定価格の適用～

応用

日付	/	/	/
✓			

完成品原価 円振替差異 円 (差異)

問題

3

理論問題～工程別総合原価計算～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア

イ

ウ

問題

4

工程間仕掛品がある場合

応用

日付	/	/	/
✓			

仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品 ()	製品 ()
直接材料費 ()	月末仕掛品 ()
加工費 ()	
()	()

Section

2

工程別総合原価計算～非累加法～

問題

5

非累加法
～累加法と計算結果が一致する方法～

基本

日付	/	/	/
✓			

完成品単位原価

円／個

仕掛品—第1工程費

(単位：円)

月初仕掛品 ()	製品 ()
直接材料費 ()	月末仕掛品 ()
加工費 ()	
()	()

仕掛品—第2工程費

(単位：円)

月初仕掛品 ()	製品 ()
加工費 ()	月末仕掛品 ()
()	()

問題

**6 非累加法
～工程全体を単一工程とみなす方法～**

基本

日付	/	/	/
✓			

完成品単位原価

円／個

仕掛品—第1工程費

(単位：円)

月初仕掛品 (製品 ()
直接材料費 (月末仕掛品 ()
加工費 (
<u>()</u>	<u>()</u>	<u>()</u>

仕掛品—第2工程費

(単位：円)

月初仕掛品 (製品 ()
加工費 (月末仕掛品 ()
<u>()</u>	<u>()</u>	<u>()</u>
<u>()</u>	<u>()</u>	<u>()</u>

問題

7 非累加法～減損～

応用

日付	/	/	/
✓			

最終工程の完成品原価

円

仕掛品—第1工程費

(単位：円)

月初仕掛品 (製品 ()
直接材料費 (月末仕掛品 ()
加工費 (
<u>()</u>	<u>()</u>	<u>()</u>

仕掛品—第2工程費

(単位：円)

月初仕掛品 (製品 ()
加工費 (月末仕掛品 ()
<u>()</u>	<u>()</u>	<u>()</u>
<u>()</u>	<u>()</u>	<u>()</u>

3 加工費工程別総合原価計算

問題



加工費工程別総合原価計算

応用

日付	/	/	/
✓			

完成品単位原価

円/kg

8

組別・等級別総合原価計算

Section

1

組別総合原価計算

問題

1

組別総合原価計算

基本

日付	/	/	/
✓			

問 1.

製品 A の完成品原価

円

製品 B の完成品原価

円

問 2.

製品 A の完成品原価

円

製品 B の完成品原価

円

2 等級別総合原価計算

問題

2

単純総合原価計算に近い方法①～第1法～

基本

日付	/	/	/
✓			

製品Xの完成品原価

円

製品Yの完成品原価

円

月末仕掛品原価

円

問題

3

組別総合原価計算に近い方法～第2法～

基本

日付	/	/	/
✓			

製品Xの完成品原価

円

製品Yの完成品原価

円

問題

4

単純総合原価計算に近い方法②～第3法～

基本

日付	/	/	/
✓			

製品Xの完成品原価

円

製品Yの完成品原価

円

9

連產品と副産物

Section

1

連產品

問題

1

連產品の原価計算

基本

日付	/	/	/
✓			

(イ) 中間製品の単位原価

X1 円／ℓY1 円／ℓZ1 円／ℓ

(ロ) 最終製品の単位原価

X2 円／ℓY2 円／ℓZ2 円／ℓ

2 副産物と作業屑

問題

2

連產品と副産物Ⅰ

基本

日付	/	/	/
✓			

(1) 副産物 D の評価額

円

(2) 完成品原価

製品 A

円

製品 B

円

製品 C

円

(3)

	製品 A	製品 B	製品 C	合計
売上高	()	()	()	()
売上原価	()	()	()	()
売上総利益	()	()	()	()
売上総利益率	(%)	(%)	(%)	

問題

3

連產品と副産物Ⅱ

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

製品AA

円

製品BB

円

製品CC

円

問2.

製品A

円

製品B

円

製品C

円

問題

4

理論問題～等級製品と連產品の相違～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ		ウ		エ	
オ		力		キ		ク	

問題

5

総合問題

応用

日付	/	/	/
✓			

問1.

(1)

	製品B	製品C
完成品原価	円	円

(2)

	製品A	製品B	製品C
売上高	円	円	円
売上原価	円	円	円
売上総利益	円	円	円

問2.

(1)

	製品B	製品C
完成品原価	円	円

(2)

	製品A	製品B	製品C
売上高	円	円	円
売上原価	円	円	円
売上総利益	円	円	円

問3.

	連產品A	連產品B	連產品C
連結原価配賦額	円	円	円

10 標準原価計算の基本

Section

1

標準原価計算の基礎知識

問題

1

理論問題～標準原価計算の目的～

基本

日付	/	/	/
✓			

(イ)		(ロ)		(ハ)	
(二)		(ホ)			

Section

2

標準原価計算の計算手続

問題

2

標準原価計算の計算手續

基本

日付	/	/	/
✓			

問1. 製品S 1個あたり標準原価

円／個

問2.

仕掛品

(単位：円)

月初有高 ()	製品 ()
材料料 ()	原価差異 ()
賃金 ()	月末有高 ()
製造間接費 ()	
()	()

製品

(単位：円)

月初有高 ()	売上原価 ()
仕掛品 ()	月末有高 ()
()	()

3 標準原価計算の勘定記入

問題

3 勘定記入の方法

基本

日付	/	/	/
✓			

(1) シングル・プランを採用している場合

仕掛け品		(単位:円)
前月繰越()	製品()	
直接材料費()	次月繰越()	
直接労務費()		
製造間接費()		

(2) パーシャル・プランを採用している場合

仕掛け品		(単位:円)
前月繰越()	製品()	
直接材料費()	価格差異()	
直接労務費()	数量差異()	
製造間接費()	作業時間差異()	
賃率差異()	操業度差異()	
予算差異()	能率差異()	
	次月繰越()	

(3) 修正パーシャル・プランを採用している場合

仕掛け品		(単位:円)
前月繰越()	製品()	
直接材料費()	数量差異()	
直接労務費()	作業時間差異()	
製造間接費()	操業度差異()	
予算差異()	能率差異()	
	次月繰越()	

問題

4

材料受入価格差異と勘定記入

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

材 料		(単位:円)
買 掛 金 ()	仕掛品-直接材料費 ()	
	月 末 有 高 ()	

材料受入価格差異		(単位:円)
買 掛 金 ()		

仕掛品一直接材料費		(単位:円)
月 初 有 高 ()	完 成 品 ()	
材 料 ()	標 準 原 價 差 異 ()	
	月 末 有 高 ()	

問2.

材 料		(単位:円)
買 掛 金 ()	仕掛品-直接材料費 ()	
	標 準 原 價 差 異 ()	
	月 末 有 高 ()	

仕掛品一直接材料費		(単位:円)
月 初 有 高 ()	完 成 品 ()	
材 料 ()	標 準 原 價 差 異 ()	
	月 末 有 高 ()	

4 標準原価差異の分析

問題

5

直接材料費差異と直接労務費差異

基本

日付	/	/	/
✓			

(1) 月末仕掛品原価 円(2) 完成品原価 円(3) 直接材料費差異 円 ()(内訳)価格差異 円 ()数量差異 円 ()(4) 直接労務費差異 円 ()(内訳)賃率差異 円 ()作業時間差異 円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

6

製造間接費差異(公式法変動予算)

基本

日付	/	/	/
✓			

四分法	三分法(1)	三分法(2)	二分法
予算差異 円()	予算差異 円()	予算差異 円()	管理可能差異 円()
変動費能率差異 円()	能率差異 円()	能率差異 円()	管理不能差異 円()
固定費能率差異 円()	操業度差異 円()	操業度差異 円()	_____
操業度差異 円()	_____	_____	_____

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

7

製造間接費差異(固定予算)

基本

日付	/	/	/
✓			

製造間接費差異

円 ()

(内訳)

予算差異

円 ()

能率差異

円 ()

操業度差異

円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題



製造間接費差異(実査法変動予算)

応用

日付	/	/	/
✓			

製造間接費差異

 円 ()

(内訳)

予 算 差 異

 円 ()

能 率 差 異

 円 ()

操 業 度 差 異

 円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

11

標準原価計算の応用

Section

1

仕損・減損の処理

問題

1

仕損を考慮しない場合

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
	円	kg	円
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
	円	時間	円
製造間接費	標準配賦率	標準機械時間	金額
	円	時間	円
合計			円

問2.

仕掛品

(単位: 円)

月初仕掛品 ()	完成品原価 ()
直接材料費 ()	月末仕掛品 ()
直接労務費 ()	標準原価差異 ()
製造間接費 ()	
()	()

問 3.

直接材料費差異	_____	円()
価格差異	_____	円()
数量差異	_____	円()
直接労務費差異	_____	円()
賃率差異	_____	円()
作業時間差異	_____	円()
製造間接費差異	_____	円()
予算差異	_____	円()
能率差異	_____	円()
操業度差異	_____	円()

【注意】()内には有利・不利
いずれかを記入すること。

問題

2

標準原価計算における仕損の処理
～第Ⅰ法による計算～

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
	円	kg	円
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
	円	時間	円
製造間接費	標準配賦率	標準機械時間	金額
	円	時間	円
製品1個あたり標準製造原価			円

問2.

仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品()	完成品原価()
直接材料費()	月末仕掛品()
直接労務費()	標準原価差異()
製造間接費()	
()	()

問3.

直接材料費差異	円()
価格差異	円()
数量差異	円()
直接労務費差異	円()
賃率差異	円()
作業時間差異	円()
製造間接費差異	円()
予算差異	円()
能率差異	円()
操業度差異	円()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

**3 標準原価計算における仕損の処理
～第2法による計算～**

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
	円	kg	円
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
	円	時間	円
製造間接費	標準配賦率	標準機械時間	金額
	円	時間	円
製品1個あたり正味標準製造原価			円
正常仕損費			円
製品1個あたり総標準製造原価			円

問2.

仕掛け品		(単位:円)
月初仕掛け品	()	完成品原価 ()
直接材料費	()	異常仕損費 ()
直接労務費	()	月末仕掛け品 ()
製造間接費	()	標準原価差異 ()
	()	()

問3.

直接材料費差異	円()
価格差異	円()
数量差異	円()
直接労務費差異	円()
賃率差異	円()
作業時間差異	円()
製造間接費差異	円()
予算差異	円()
能率差異	円()
操業度差異	円()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

**4 理論問題
～第1法と第2法の比較～**

基本

日付	/	/	/
✓			

問題

5 仕損品評価額のある場合

応用

日付	/	/	/
✓			

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
	円	kg	円
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
	円	時間	円
製造間接費	標準配賦率	標準機械作業時間	金額
	円	時間	円
製品1個あたり正味標準製造原価			円
正常仕損費			円
製品1個あたり総標準製造原価			円

問2.

仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品()	完成品原価()
直接材料費()	異常仕損費()
直接労務費()	仕損品()
製造間接費()	月末仕掛品()
標準原価差異()	
()	()

問3.

直接材料費差異	_____ 円()
価格差異	_____ 円()
数量差異	_____ 円()
直接労務費差異	_____ 円()
賃率差異	_____ 円()
作業時間差異	_____ 円()
製造間接費差異	_____ 円()
予算差異	_____ 円()
能率差異	_____ 円()
操業度差異	_____ 円()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

2 歩留差異・配合差異の分析

問題



歩留差異と配合差異Ⅰ

基本

日付	/	/	/
✓			

問1.

仕掛品－原料費

(単位：円)

当月投入高 ()	当月完成高 ()
原価差異 ()	原価差異 ()
()	()

歩留差異

(単位：円)

()	()
-----	-----

配合差異

(単位：円)

()	()
-----	-----

問2.

	歩留差異	配合差異
原料 A	円()	円()
原料 B	円()	円()
原料 C	円()	円()
合計	円()	円()

問題



歩留差異と配合差異Ⅱ

応用

日付	/	/	/
✓			

	歩留差異	配合差異
原料 X	() 円	() 円
原料 Y	() 円	() 円
原料 Z	() 円	() 円

問題



労働歩留差異と労働能率差異

基本

日付	/	/	/
✓			

問 1.

労働歩留差異

円 ()

労働能率差異

円 ()

問 2.

仕掛品 - 労務費

(単位 : 円)

当月投入高 ()	当月完成高 ()
原価差異 ()	原価差異 ()
()	()

賃率差異

(単位 : 円)

()	()
-----	-----

労働歩留差異

(単位 : 円)

()	()
-----	-----

労働能率差異

(単位 : 円)

()	()
-----	-----

問題



理論問題～標準原価計算の目的と差異分析～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ		ウ	
工		オ		力	
キ		ク		ケ	

日付	/	/	/
✓			

問1.

	価格差異	歩留差異	配合差異
原料X	円	円	円
原料Y	円	円	円
合 計	円	円	円

問2.

賃率差異	労働歩留差異	労働能率差異
円	円	円

問3.

予算差異	歩留差異	能率差異	操業度差異
円	円	円	円

3

標準原価計算のその他の計算形態

問題

11

工程別標準総合原価計算

基本

日付	/	/	/
✓			

仕掛品 - 第 1 工程		(単位 : 円)
前月繰越 ()	仕掛品 - 第 2 工程 ()	
直接材料費 10,644,400	総差異 ()	
加工費 2,250,000	次月繰越 ()	
()	()	
材料消費価格差異		(単位 : 円)
()	()	
材料消費数量差異		(単位 : 円)
()	()	
予算差異		(単位 : 円)
()	()	
能率差異		(単位 : 円)
()	()	
操業度差異		(単位 : 円)
()	()	
仕掛品 - 第 2 工程		(単位 : 円)
前月繰越 ()	製品 ()	
仕掛け品 - 第 1 工程 ()	総差異 ()	
加工費 4,500,000	次月繰越 ()	
()	()	

予 算 差 異

(単位：円)

(

)

(

)

能 率 差 異

(単位：円)

(

)

(

)

操 業 度 差 異

(単位：円)

(

)

(

)

問題
12

部品階層構造問題

応用

日付	/	/	/
✓			

問 1.

自製部品	自製部品x	自製部品y	自製部品z
原価標準	円	円	円

問 2.

製品	製品 X	製品 Y	製品 Z
原価標準	円	円	円

問 3.

買入部品	買入部品 1	買入部品 2
必要量	個	個

問 4.

部品組立部門	時間
製品組立部門	時間

問 5.

買入部品消費量差異	円(借方、貸方)
作業時間差異	円(借方、貸方)

【注】(借方・貸方)のどちらかを二重線で消すこと。

問 6.

自製部品消費量差異	円(借方、貸方)
作業時間差異	円(借方、貸方)

【注】(借方・貸方)のどちらかを二重線で消すこと。

問 7.

部品組立部門	円(借方、貸方)
製品組立部門	円(借方、貸方)

【注】(借方・貸方)のどちらかを二重線で消すこと。

問題
13

設備総合効率を導入した標準原価差異分析

応用

日付	/	/	/
✓			

問1.

能率差異	速度低下ロス差異	チョコ停ロス差異
円	円	円

問2.

操業度差異	段取替ロス差異	故障・停止ロス差異
円	円	円

Section

4

標準原価差異の会計処理

問題
14

標準原価差異の会計処理Ⅰ

基本

日付	/	/	/
✓			

期末仕掛品原価

期末製品原価

売上原価

問題
15

標準原価差異の会計処理2

基本

日付	/	/	/
✓			

(1) 売上原価

 円

期末製品

 円

期末仕掛品

 円

期末材料

 円

(2) 材料数量差異

 円 ()

【注】()には有利または不利と記入すること。

(3)

材 料

(単位：円)

買掛金 ()	仕掛品-直接材料費 ()
材料受入価格差異 ()	期 末 有 高 ()
()	()

仕掛品-直接材料費

(単位：円)

材 料 費 ()	製 品 ()
材料受入価格差異 ()	材 料 数 量 差 異 ()
材 料 数 量 差 異 ()	期 末 有 高 ()
()	()

材料受入価格差異

(単位：円)

買掛金 ()	売 上 原 価 ()
	製 品 ()
	仕 掛 品 ()
	材 料 数 量 差 異 ()
	材 料 ()
()	()

材料数量差異

(単位：円)

仕掛品-直接材料費 ()	売 上 原 価 ()
材料受入価格差異 ()	製 品 ()
	仕掛品-直接材料費 ()
()	()

問題
16

理論問題～標準原価差異の処理～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ		ウ		エ	
オ		カ		キ		ク	

問題
17

標準原価差異の会計処理3

応用

日付	/	/	/
✓			

問1.

(1) 材料受入価格差異	円 ()
(2) 材料消費量差異	円 ()
(3) 加工費配賦差異	円 ()

【注】()内に借方、または貸方を記入すること。

問2.

仕掛け品		(単位：円)
材料	料 ()	製品 ()
追加配賦		次期繰越 ()
材料受入価格差異	()	材料消費量差異 ()
材料消費量差異	()	加工費配賦差異 ()
加工費	()	
追加配賦		
加工費配賦差異	()	
	()	()

製品		(単位：円)
仕掛け品	()	売上原価 ()
追加配賦		次期繰越 ()
材料受入価格差異	()	
材料消費量差異	()	
加工費配賦差異	()	
	()	()

売上原価		(単位：円)
製品	()	損益 ()
追加配賦		
材料受入価格差異	()	
材料消費量差異	()	
加工費配賦差異	()	
	()	()

12

費目別計算の応用

Section

1 材料費の計算

問題

1

実際消費額

基本

日付	/	/	/
✓			

材料月末残高 :

先入先出法

--

円

移動平均法

--

円

総平均法

--

円

問題

2

継続記録法と棚卸計算法

基本

日付	/	/	/
✓			

(単位 : 円)

材		料
前月繰越	()
買掛金	()
<hr/>		
	()
<hr/>		
仕掛品	()
製造間接費	()
次月繰越	()
<hr/>		
	()
<hr/>		

材料受入価格差異

買掛金	()

問題

3

材料費会計の勘定連絡

応用

日付	/	/	/
✓			

【注】(　　)には勘定科目、(　　)には金額(単位：円)を記入すること。

A 材 料

前月繰越 ()	仕掛品 ()
諸口 ()	製造間接費 ()
	材料消費価格差異 ()
	次月繰越 ()
	()

B 材 料

前月繰越 ()	仕掛品 ()
諸口 ()	製造間接費 ()
	材料消費価格差異 ()
	次月繰越 ()
	()

外 部 副 費

引取運賃 ()	A 材料 ()
保険料 ()	B 材料 ()
() ()	外部副費配賦差異 ()

内 部 副 費

() ()	() ()
保管費 ()	
検収費 ()	

仕 銀 品

A 材料 ()	
B 材料 ()	

製 造 間 接 費

A 材料 ()	
B 材料 ()	
内部副費 ()	

材料消費価格差異

A 材料 ()	
B 材料 ()	

問題

4

理論問題～材料費～

基本

日付	/	/	/
✓			

ア		イ		ウ		工		才		力		キ	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

Section

2

消費賃金の計算

問題

5

直接労務費と間接労務費

基本

日付	/	/	/
✓			

直接労務費

円

間接労務費

円

日付	/	/	/
✓			

問1.

(単位：円)

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		

問2.

【注】()には勘定科目等の適切な語句、()には金額(単位：円)を記入すること。

賃 金	
諸	口 () () () () ()
() () () () () ()	
	() () () () () ()
	() () () () () ()
	() () () () () ()
	() () () () () ()
	() () () () () ()
	() () () () () ()

未 扯 賃 金	
() () () () () ()	
() () () () () ()	
	() () () () () ()
	() () () () () ()
	() () () () () ()
	() () () () () ()

問題

7

定時間外作業手当

応用

日付	/	/	/
✓			

【注】()には勘定科目を示す番号、()には金額(単位：円)を記入すること。

(1)賃		金
() () ()
() ()) ()
() ()) ()
() ()) ()

	()	()
(2)仕掛品		
前月繰越	×××	××××
() ()		×××
(3)製造間接費		
×××	×××	××××
() ()		×××
(4)賃率差異		
() ()		×××
(5)未払賃金		
() ()	前月繰越	() ()
次月繰越 ()	()	()

	()	()
(6)現金		金
前月繰越	×××	() ()
(7)預り金		金
×××	×××	前月繰越 ×××
		() ()
(8)立替金		金
前月繰越	×××	() ()
×××	×××	

3 外注加工賃

問題



外注加工賃の処理

応用

日付	/	/	/
✓			

【注】()には金額、[]には勘定科目を記入しなさい。

問1.

買掛金
()

外注加工賃
()

()
[]

(単位：円)

材 料
60,000 ()

問2.

買掛金
()

外注加工賃
()

()
[]

(単位：円)

材 料
60,000 ()

問題

損益計算書の作成

応用

日付	/	/	/
✓			

(単位：万円)

製 造 間 接 費

間接材料費 ()	仕掛品 ()
間接労務費 ()	原価差異 ()
間接経費 ()	
()	()

仕 備 品

期首有高 ()	製品 ()
直接材料費 ()	異常仕損費 ()
直接労務費 ()	期末有高 ()
直接経費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

損益計算書

(単位：万円)

売上高	10,500
売上原価	()
売上総利益	()
販売費	()
一般管理費	()
販売費・一般管理費計	()
営業利益	()
営業外収益	()
営業外費用	()
経常利益	()
特別利益	()
特別損失	()
税引前当期純利益	()

13 部門別計算の応用

Section

1

単一基準配賦法と複数基準配賦法

問題
1 単一基準配賦法と複数基準配賦法
(基本問題)

基本

日付	/	/	/
✓			

(A) 単一基準・実際配賦による場合

電 力 部 門		(単位：円)
部門費実際発生額	4,862,000	甲製造部門配賦額 ()
		乙製造部門配賦額 ()
	4,862,000	4,862,000

(B) 単一基準・予定配賦による場合

電 力 部 門		(単位：円)
部門費実際発生額	4,862,000	甲製造部門配賦額 ()
		乙製造部門配賦額 ()
	() 差 異 ()	() 差 異 ()
	4,862,000	4,862,000

(C) 複数基準・予算額配賦による場合

電 力 部 門		(単位：円)
部門費実際発生額	4,862,000	甲製造部門配賦額 ()
		乙製造部門配賦額 ()
	() 差 異 ()	() 差 異 ()
	4,862,000	4,862,000

問題

2

**単一基準配賦法と複数基準配賦法
(もっとも望ましい配賦方法)**

応用

日付	/	/	/
✓			

問 1.

実際配賦率

--

円

切削部に対する実際配賦額

--

円

問 2. (単位：円)

動 力 部	
変動費実際発生額	4,420,000
固定費実際発生額	4,940,000
	9,360,000
切削部への予定配賦額	()
組立部への予定配賦額	()
総 差 異	()
	9,360,000

動力部予算差異

()		()
-----	--	-----

動力部操業度差異

()		()
-----	--	-----

【注】差異勘定は借方・貸方いずれか一方のみ記入し、不要な方は空欄のままにしておくこと。

問 3.

(ア)	
(イ)	
(ウ)	

組立部に対する動力部費配賦額

変動費	円
固定費	円
合 計	円

問題

3

**複数基準配賦法・予算額配賦
(差異分析)**

基本

日付	/	/	/
✓			

部門費配賦表(当月予算)

(単位:円)

費目	切削部	仕上部	電力部	総務部
部門費	266,300	207,700	()	()
電力部	()	()		
総務部	()	()		
製造部門費	()	()		

部門費配賦表(当月実績)

(単位:円)

費目	切削部	仕上部	電力部	総務部
部門費	276,400	208,600	()	()
電力部	()	()		
総務部	()	()		
製造部門費	()	()		

切削部費

(単位:円)

部門費	276,400	予定配賦額	()
電力部費	()	予算差異	()
総務部費	()	操業度差異	()
	()		()

仕上部費

(単位:円)

部門費	208,600	予定配賦額	()
電力部費	()		
総務部費	()		
予算差異	()		
操業度差異	()		()
	()		()

電力部費

(単位:円)

部門費	80,000	予定配賦額	()
		予算差異	()
	80,000		80,000

総務部費

(単位:円)

部門費	19,000	予定配賦額	19,000
-----	--------	-------	--------

問題

4

複数基準配賦法(連立方程式法)

基本

日付	/	/	/
✓			

甲製造部門の予定配賦率は

円／時間である。

日付	/	/	/
✓			

問 1.

(a) 製造部門費予定配賦率

第1製造部

--

円／時

第2製造部

--

円／時

(b) 部門費関係勘定(単位：円)

製造間接費-第1製造部

変動費 ()	予定配賦額 ()
固定費 ()	総差異 ()
材料 ()	
賃金 ()	
動力部費配賦額 ()	
()	()

製造間接費-第2製造部

変動費 ()	予定配賦額 ()
固定費 ()	総差異 ()
材料 ()	
賃金 ()	
動力部費配賦額 ()	
()	()

動力部

変動費 ()	動力部費配賦額 ()
固定費 ()	総差異 ()
材料 ()	
()	()

仕掛品-製造間接費

月初仕掛品原価 ()	完成品原価 ()
第1予定配賦額 ()	月末仕掛品原価 ()
第2予定配賦額 ()	
()	()

(c) 差異分析

	第1製造部	第2製造部	動力部
予算差異	() 円	() 円	() 円
操業度差異	() 円	() 円	() 円

【注】有利差異の場合は()の中に+(プラス)を、不利差異の場合には-(マイナス)を記入しない。なお、差異が生じない場合には、金額記入欄に0(ゼロ)を記入すること。

(d) 指図書別原価計算表(備考欄省略)

(単位:円)

摘要	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	合計
月初仕掛品原価		-	-	-	-	
直接材料費甲						
直接材料費乙						
直接労務費(第1製造部)						
直接労務費(第2製造部)						
第1製造部費						
第2製造部費						
合計						

問2.

(イ)		(ロ)		(ハ)	
-----	--	-----	--	-----	--

(二)		(ホ)	
-----	--	-----	--

(イ)の金額 () 円 (ロ)の金額 () 円

【注】有利差異の場合は()の中に+(プラス)を、不利差異の場合には-(マイナス)を記入しない。なお、差異が生じない場合には、金額記入欄に0(ゼロ)を記入すること。

2 活動基準原価計算

問題



**活動基準原価計算
(基本問題)**

基本

日付	/	/	/
✓			

問 1.

製品X	製品Y	製品Z
円	円	円

問 2.

製品X	製品Y	製品Z
円	円	円

問題

?

活動基準原価計算 (目標販売単価)

基本

日付	/	/	/
✓			

問 1.

	単位あたり製造原価	目標販売単価
製品 A	円	円
製品 B	円	円

問 2.

(設問 1)

(イ)	回
(ロ)	回
(ハ)	時間
(ニ)	時間
(ホ)	個
(ヘ)	個
(ト)	回
(チ)	回

(設問2)

	単位あたり製造原価	目標販売単価
製品 A	円	円
製品 B	円	円

14 本社工場会計

Section

1

本社工場会計の基礎知識

問題

1

本社・工場間の取引

基本

日付	/	/	/
✓			

(1) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(2) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(3) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(4) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(5) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(6) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(7) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(8) 本社： (借) (貸)

(借) (貸)

工場： (借) (貸)

問題

2 内部利益

基本

日付	/	/	/
✓			

問 1.

(1) 本社： (借) (貸)

工場： (借) (貸)

(2) 本社： (借) 製 品 (貸)

工場： (借) (貸)

(借) (貸)

問 2.

本社： (借) (貸)

(借) (貸)

内部利益

円

Section

2 帳簿の締切り

問題

3 本社工場会計での帳簿の締切り

基本

日付	/	/	/
✓			

総合損益

() ()	() () (
全社的営業利益	()	() () (
			() () (
			()	(